

学習目標		
(1)良いこと悪いことの区別をし規則正しい生活をする子どもを育てる。		
(2)友だちと助け合い、励まし合う子どもを育てる。		
(3)最後までがんばろうとする子どもを育てる。		
月	単元・題材名	学習内容
4	ぼくは 二年生 こんな こと して いないか な？	・困っている下級生のことを支えようと努力したよしおの行動や気持ちを考え、身近な人に思いやりの心で接しようとする大 ・きまりを守っている場面と守らない場面の二つの絵を比べることから、みんなで使う場所で、きまりを守って人に迷惑をかけ ないようしようとする大切さについて考える。
5	べんきょうが はじまるよ 生きて いるって どんな こと ？ 聞こえなかった お話 わすれられた しらゆきひめ	・「ぼく」の気付きと行動を考えるを通して、時刻を守り、時間を大切に節度ある生活をしようとする大切さについて考 ・「生きている」とはどういうことか、改めて考えることで、「生きている証」や生きていることのすばらしさを実感することの大切 さを考える。 ・おしゃべりしなくなった時、昨日のことを思い出してしゃべるのを止めた「わたし」の行動を考えるを通して、よいと思っ たことができたときのすがすがしさを感じ取らせるとともに、行ってよいことを進んで行うことができる大切さについて考える。 ・忘れられていたゴムボールとしらゆきひめの本の気持ちを考え、きまりを守ることの大切さを理解し、みんなが使う物を大切 にしようとする。
6	たんじょう日に ありがとう はなかつぱの 大ぼうけん ごめんね、もえちゃん わたしの 学校、いい 学校	・誕生日に母親にお礼を言うという校長先生の話きっかけに、愛情をもって育ててくれた両親の思いに気付いたけんたろう の気持ちを考えるを通して、自分の生命は受け継がれてきた大切なものであることを感じる。 ・いろいろな花に出会うことで変化していくはなかつぱの気持ちを考えるを通して、自分の長所に気付き、それを伸ばして いこうとする大切さについて考える。 ・自分の力で色塗りを完成させたもえちゃんの喜びを見て、親切の意味に気付いたけんちゃんの心の動きを考えることで、相 手を思いやって人と接していこうとする大切さについて考える。 ・学校を愛するトットちゃんの気持ちに共感することを通して、自分の学校のよさを見つめ直し、みんなでより楽しい学校生活 にしていこうとする大切さについて考える。
7	とべない ほたる ゆつきと やっち	・自分を助けるために、わざと人間につかまってくれた仲間のほたるに対して、飛べないほたるが抱いた気持ちを考えること を通して、仲間を思う心の気高さに感動し、清々しい心をもとうとする大切さについて考える。 ・友達を大事にしようとするゆっきの優しさや、ゆつきとやっちの心の動きを考えながら、友達への優しさや、いたわりの気持 ちを大切に、仲良く助け合っていこうとする大切さについて考える。
9	かえるのおり紙 うさぎのみみた きつねとぶどう からすの子	・折り紙で遊びながらジェーンと交流するまり子の気持ちを考えるを通して、他国の人々に親しみをもったり、温かい心で 接しようとしたりすることの大切さについて考える。 ・みみたの無謀な行動を考えるを通して、安全のためのきまりを守って、健康で安全な生活をしようとする大切さにつ いて考える。 ・命がけで自分を救ってくれた親ぎつねの愛情に気付いて、心から感謝する子ぎつねの気持ちをを通して、父母やまわりの 人々の愛情に対し、感謝しようとする大切さについて考える。 ・かわいがっていたからすの子を死なせてしまい、命への向き合い方を考え直すシートンの姿を通して、身近な動植物を大 切にし、やさしい心で世話をしようとする大切さについて考える。
10	黄色いベンチ ぐみの木と小鳥 お月さまとコロ 弟のたんじょう	・おばあさんが女の子のスカートの泥を落としている姿を見た時のたかしとつおの気持ちを考え、みんなが使うものを大事 にしようとする大切さについて考える。 ・病気になって困っているりすを助けようと一生懸命に行動する小鳥の気持ちをを通して、相手のことを考えて、進んで親切に しようとする大切さについて考える。 ・コロの気持ちの変化を考えることで、明るく素直な心で生活することの大切さについて考える。 ・主人公の、母親を心配する気持ちや新たな生命の誕生を喜ぶ姿を考えるを通して、生命が生まれることの 喜びやすばらしさを感じる。
11	思いきって お父さんのあせ ねこがわらった時 ごあいさつ ごあいさつ	・思いきって自分の考えを言うことができた「ぼく」の行動を考えるを通して、自分の気持ちや考えをはっきり言 おうとする大切さについて考える。 ・懸命に働くお父さんの姿を見たぼくの気持ちを考えるを通して、みんなのために働こうとする大切さにつ いて考える。 ・いっちゃんの気持ちを考えるを通して、うそやごまかしをしないで、正直に明るく生活しようとする大切 さについて考える。 ・ピクニックに出かけたかえるたちが、あいさつを交わす中で互いにすがすがしい気持ちになっていく様子を通し て、あいさつの大切さに気付き、気持ちのよいあいさつをすることの大切さについて考える。
12	だれからかこうかな また、あしたね ありときりぎりす	・やすこから「一番最初に頼んだのは私よ。」という言葉が言われた「ぼく」の気持ちを考えるを通して、自分の 好き嫌いで友達を分け隔てしないこと大切さについて考える。 ・こうたとの友情を疑ったことを反省し、また仲良く遊ぶことができるようになった「ぼく」の心の変化から、友達と互 いに信頼し合い、助け合っていくこと大切さについて考える。 ・ありときりぎりすの気持ちを対比して考えることで、やるべきことをしっかりやろうとする大切さについて考 える。
1	もっと知りたい、わたしの町 かたづけ名人 ぼくにできること	・自分が住む町の伝統、文化に携わる人々と触れ合うあやさんとみつ子さんの気持ちを考えながら、郷土を愛そ うとする大切さについて考える。 ・ひろしの気持ちの変化を考え、身の回りをきちんと整頓し、使いやすいように整え、物を大切にすることについて ・家族と共に苦しみを乗り越え、家族のために何かできることはないかと考え始めるけんじの生き方から、家族の 一員として自分にできることをすること大切さについて考える。
2	まいちゃんのえがお こくばんといちょうの木 七つの星	・男の子とまいちゃんの「わたし」に対する対応の違いによって変化する「わたし」の心情を対比することで、明る いあいさつをしようとする大切さについて考える。 ・けんかの怒りにまかせた行動を反省し、思い直した主人公の行動を考えるを通して、人として、してはならな いことを判断できる力の大切さについて考える。 ・相手を思いやる行動をするたびに姿を変えるひしゃくの意味を考えるを通して、美しい心や美しい光景に素 直に感動する気持ちをもつこと大切さについて考える。
3	にいしよつか、ヤミはつじこ ス けやきの校しよう	・誘惑に負けないでがんばり通して、世界に通用するテニスの選手となった松岡修造さんの姿を通して、自分の やるべきことを、くじけず行うこと大切さについて考える。 ・主人公の学校、および自分の学校の校章に込められている意味や願いを知ることから、先生や学校の人々に 親しみを持ち、自分たちの学校を大切にしようとする。
評価の観点		
・道徳科の授業においてみられる、児童の学習状況や道徳性に係る成長の様子を見取り、個人内評価として文書で記述します。		
評価の方法		
会話 ノート 作文 質問紙等		